



第38代理事長
松村 毅

副理事長 藤原昌之
長竹住正宏
専務理事 表真司
事務局長 片倉庸光
まち未来室長 榎本智彦
ひと未来室長 石井士朗
事業再考室長 渡辺徹
都市デザイン委員長 横田文雄
地域主権推進委員長 大野進
資質向上委員長 羽鳥達郎
青少年関係委員長 地斎和雄
会員拡大委員長 若林孝三
情報総括委員長 矢澤久雄
文化財パトロール隊長 高橋敏夫
マラソン実行委員長 橋本繁雄
災害復興支援特別委員長 篠原住夫
監事 吉澤俊文
深澤幸弘
和田克己
荻野光一

スローガン
こちよくも ちからづよい
輝くまちを 小さな手に

○会員数 100名
○年会費 120,000円

前年度の「ACT-ONE」の理念を継承する組織図と委員会構成で迎えたこの年、継続事業の再考は最重要テーマであった。委員会・特設委員会等、各年度によって捉え方の異なる足利さわやか健康マラソン大会や足利文化財パトロール隊への関わりを出向として明確化。理事長諮問に対し、足利JCが継続して関わった事業に対する関わり方の方向性を答申書としてまとめた。市民に対し主張できる都市デザイン、地域主権型社会に向けて市民が自発的に動く新しいシステムの提案は翌年以後の運動に影響を及ぼす。

太田JCとの合併の是非を問う議論が持ちかけられたのも時代の反映と言える。また、40周年に備えて、情報整理、会員拡大を掲げる2委員会を新設した。一方「ボランティア元年」という呼称を作った阪神淡路大震災は1月定時総会の日の早朝に発生。災害復興支援特別委員会設置、被災地での救済活動、特別事業準備金取崩しによるリフレッシュキャンプ実施等で対応した。



足利JCの主な出来事

- ◆阪神淡路大震災発生に伴い災害復興支援特別委員会設置
- ◆日本JC会頭 山本潤君 公式訪問例会
- ◆事業再考室答申書発表
- ◆茶の湯コンセプトの提唱
- ◆足利まちづくりセンター構想の提案
- ◆JCライブラリー設置
- ◆さわやか健康マラソン大会・尊氏公マラソン
- ◆年会費の値上げ、入会金の値下げ



足利市の主な出来事

- ◆渡良瀬川横断公共下水道幹線が完成し、通水式を行う
- ◆両毛広域都市圏で公共施設の相互利用を開始
- ◆緑橋右岸西部土地区画整理事業が完成
- ◆梁田児童センターが開館
- ◆やすらぎハウスが完成
- ◆生活路線バスが運行を開始
- ◆第10回国民文化祭を開催
- ◆松田川ダムが完成
- ◆全国孔子廟サミットを開催



生活路線バスが運行を開始



松田川ダムが完成

この年の代表的なニュース

- ◆阪神淡路大震災
- ◆地下鉄サリン事件、オウム事件摘発
- ◆野茂投手、大リーグで新人王
- ◆沖縄の米軍基地問題で紛糾
- ◆2信組乱脈融資事件
- ◆「もんじゅ」でナトリウム漏れ事故
- ☆流行語
「がんばろうKOBE」、「NOMO」、「ポア」

☆流行歌

- ・ LOVE LOVE LOVE
(ドリームズ・カム・トゥルー)
- ・ HELLO (福山雅治)
- ・ WOW WAR TONIGHT
(H Jungle with t)
- ・ TOMORROW (岡本真夜)
- ・ LOVE PHANTOM (B'z)